



中国を識る、 東アジアを生きる

1990年代以降の中国市場の突出した存在感は、中国社会の変容のみならず、中国をとりまく東・東南アジアの政治的、経済的、文化的環境を大きく変容させることとなりました。こうした中国と中国をとりまく国際社会の変化を正しく理解するためには、中国近現代史や国際政治、経済学など複数の視点の獲得と、中国や台湾との国際的な学術交流ネットワークを通じた現象理解が不可欠です。本プログラムは、中国近現代史を基盤としつつ、様々な学問領域の専門家による分野横断的で多角的な対話と、中国、台湾などにおける現地実習をとりまぜ、中国の政治や経済、文化、さらには日中関係についての受講者の関心にこたえます。

本プログラムには、中国史をはじめとする多様な分野の専門家から現代中国研究に関わる様々な論点を提示していただく「現代中国研究」、受講者がそれぞれのテーマに従って課題探求を行い、プレゼンテーションの技術を学びながら口頭発表する「中国文化コロキウム」(集中)の二つの必修科目に加えて、様々な選択科目が用意されています。

受講資格・条件

資格や条件はありません。理系・文系を問わず、留学生も含めた全学からの受講を歓迎します。これまで中国についてあまり関心をもつてこなかった人、中国に関心はあるが中国語に不安を感じている人を歓迎します。日中関係や東アジアの政治、経済、文化に興味をもつ学生、将来、国際協力など現場やマスメディア、企業などで幅と厚みのある実務家として働くことを希望する学生にも向いたプログラムです。

修了要件

本プログラムが指定する基礎科目(必修)4単位と選択科目4単位以上を修得することとします。

なお、プログラムの修了要件科目が研究科の修了要件科目と重複する場合の必要単位数の計算方法は、それぞれの研究科の履修要件に従うこととします。

プログラム構成科目

以下は、予定のもので、正確な時間割はKOAN等で確認してください。

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講学期	開講部局（課程）	備考
		必修	選択			
■ 基礎科目（これらの科目からいずれか4単位を修得すること）						
220481	現代中国研究	2		1学期	法学研究科（博士前期）	どちらか1科目のみ
221400	現代中国研究特殊講義	2		1学期	法学研究科（博士後期）	
720401	中国文化コロキウム	2		集中	GLOCOL（院）	
■ 選択科目						
216063	超域地域論特講Ⅰ	2		1学期	人間科学研究科（博士前期）	
216064	超域地域論特講Ⅱ	2		2学期	人間科学研究科（博士前期）	
216087	超域地域論特別演習Ⅰ	2		1学期	人間科学研究科（博士後期）	
216088	超域地域論特別演習Ⅱ	2		2学期	人間科学研究科（博士後期）	
216065	超域地域論特定演習Ⅰ	2		1学期	人間科学研究科（博士前期）	216087と同一科目
216066	超域地域論特定演習Ⅱ	2		2学期	人間科学研究科（博士前期）	216088と同一科目
220354	アジア政治史	2		2学期	法学研究科（博士前期）	
221282	アジア政治史特殊講義	2		2学期	法学研究科（博士後期）	
232122	事例研究（中国企業経営）	2		2学期	経済学研究科（博士前期）	
232110	アジア企業・マネジメント	2		1学期	経済学研究科（博士前期）	
216026	人間環境論特講Ⅰ	2		2学期	人間科学研究科（博士前期）	
216027	人間環境論特講Ⅱ	2		1学期	人間科学研究科（博士前期）	
305097	アジア言語文化表象論ⅠA	2		1学期	言語文化研究科（博士前期）	
305098	アジア言語文化表象論ⅠB	2		2学期	言語文化研究科（博士前期）	
311156	演習（軍備管理・軍縮論）	2		1学期	国際公共政策研究科（博士前期）	
311179	特殊研究（軍備管理・軍縮論）	2		1学期	国際公共政策研究科（博士後期）	311156と同一科目
720104	フィールドワークの実践と倫理	1		1学期	GLOCOL（院）	
720108	海外フィールドスタディ	2		通年	GLOCOL（院）	

2つの必修科目

「現代中国研究」「現代中国研究特殊講義」

〈20世紀中国の射程〉（パートⅠ）と〈21世紀の中国と東アジア〉（パートⅡ）からなるオムニバス講義。Ⅰでは、中国現代史の視点から、中国に対する多角的な見方の前提となる中国の歴史の変遷、および外部との関係において見えてくる広義の中国文化システムについて考えます。Ⅱでは、文化、民族、社会、環境、国際関係、経済、外交、安全保障の8つの視点から未来志向の中国像、さらには中国と日本、東アジアとの関係についてディスカッションも入れつつ考えていきます。

■Ⅰ 〈20世紀中国の射程〉

漢族と非漢族をめぐる史実と言説〈片山剛 文化研究科〉、中国の自画像・東アジアの中国像〈堤一昭 文化研究科〉、博覧会における「文明」と「野蛮」の階梯〈福田州平 GLOCOL〉、法治主義発展史とそこにおける中国〈高田篤 法学研究科〉、日中関係の転機と歴史叙述〈田中仁 法学研究科〉、「華僑」「華人」と東アジアの近代〈宮原暁 GLOCOL〉

■Ⅱ 〈21世紀の中国と東アジア〉

中国ロックに見るワールドインパクト〈青野繁治 言語文化研究科〉、「民族」概念を使いこなす〈木村自 人間科学研究科〉、中国の開発と環境〈思沁夫 GLOCOL〉、食の安全・安心・信頼〈三好恵真子 人間科学研究科〉、東アジア地域秩序の変容〈山田康博 OSIPP〉、「経済大国」化する中国〈許衛東 経済学研究科〉、アメリカの戦後台湾政策〈高橋慶吉 法学研究科〉、中国の核戦力と核戦略〈竹内俊隆 OSIPP〉

「中国文化コロキウム」

（台湾大学、国立台湾歴史博物館等で実施予定 2学期2月中旬予定）

本授業では、互いに無関係にも見える6つのテーマ（「政治文化システム」としての中国、台湾と中国、環境と「少数民族」、華僑華人社会と漢化、環境と生態と政治、再び政治の問題）に関する短めのレクチャーと、予定調和的ではないディスカッションを通じて「中国」の現在をともに考えます。

【中国文化フォーラム】

高度副プログラム「現代中国研究」は、大阪大学における分野横断的な現代中国研究の枠組みである中国文化フォーラムがGLOCOLのノウハウを用いて企画、運営しています。中国文化フォーラムでは、若手研究者の育成と国際的な研究ネットワークの形成、ディスカッションペーパーの刊行を通じて、大阪大学における広い意味での現代中国研究、現代中国に関わる様々な研究をサポートしています。

【問い合わせ先】

中国文化フォーラム事務局
c-forum@law.osaka-u.ac.jp
http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/